

# 秋田の 星空

夏

写真と文・天文同好会「秋田星っこ会」



「月の穂」のモニュメントと夏の天の川(大湯村生態系公園エントランス広場)

## 見 つけたいペルセウス座流星群

夏の星空の楽しみの一つに流れ星があります。枕草子の「星はすばる。ひこぼし。ゆふづつ。よばひ星…」のよばひ星ですね。

秋田で一般的に梅雨明けとなる7月20日頃から活動が始まるペルセウス座流星群は、多くの流星が観察できる「三大流星群」の一つです。しかし、他の二つは活動時期が冬のため、秋田ではほぼ唯一の観察しやすい流星群といえます。

活動開始から徐々に数が増え始め、ピークのお盆の頃には、条件が良いと一時間に50個ほどの流星が観測できます。ピーク後は一週間ほどで活動を終えます。今年のピークは月明かりもなく、最高の条件です。明るい流星が多く、火球と呼ばれる金星よりも明るいのや、流れた後に流星痕を残す場合もあります。

天の川に沿って夏の大三角の中を流れたり、さそり座やいて座、反対方向のカシオペア座を貫く流星をカメラで狙うのも良いでしょう。夏休み、ご家族での流星狩りはいかがでしょうか。場所によっては、蛍が紛れ込むこともありますよ。



ペルセウス座流星群  
(秋田市雄和、県立中央公園)